

S1 DevOps時代のサーバインフラ管理

Internet Week 2013

本日の構成

9:15~9:35	プログラム概要	田中 薫
9:35~10:30	アプリケーション開発・運用の 変革とサーバ構築の自動化	中井 悦司
10:30~10:40	休憩	
10:40~11:45	クラウド基盤における 開発・構築・運用の自動化手法	齋藤 秀喜

プログラム概要

田中 薫

この話

DevOpsというプラクティスについて、一般的な解釈をおさらいし、本日のプログラムのスコープを説明します。

自己紹介

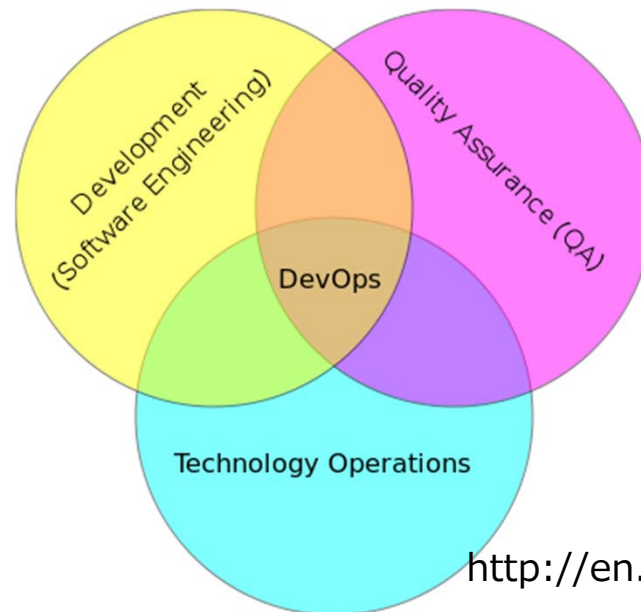
- 田中 薫
 - 仮想化インフラストラクチャ・オペレーターズグループ ボード
- 日々のお仕事
 - クラウドサービスのサーバ基盤開発
- 過去のお仕事
 - 顧客個別システムの提案・構築・運用（いわゆるSI）
 - 某IXサービスのデリバリ省力化、サービス構成情報のDB化

巷のDevOps

だけじゃない・・・

DevOpsとは

- **ビジネスゴールを実現するために**、開発部門、運用部門、品質管理部門が相互に協力してシステムを運営していく「プロセス」、「方法論」や「仕組み」のこと



<http://en.wikipedia.org/wiki/DevOps>

DevOpsとは

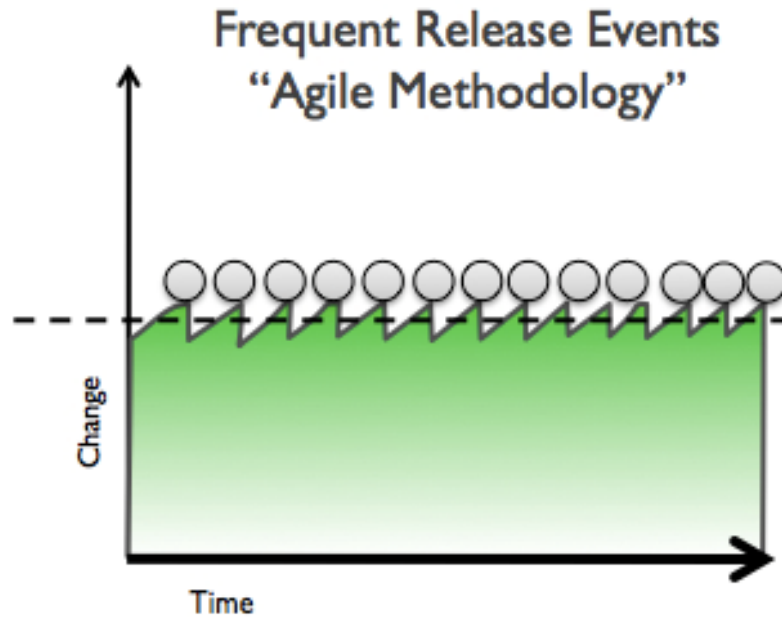
10 deploys per day
Dev & ops cooperation at Flickr

John Allspaw & Paul Hammond
Velocity 2009

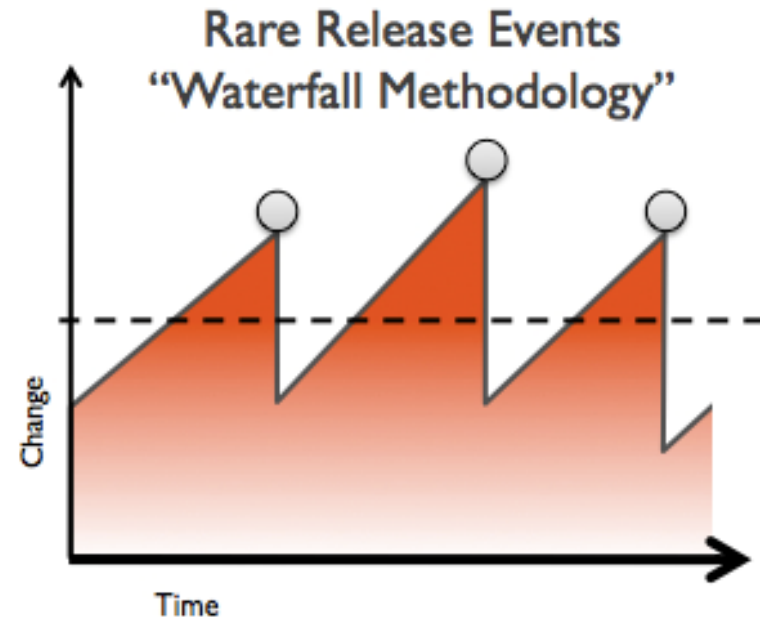
必要とされる背景

- ビジネス要件の急速な変化に追隨していく
 - 競合よりも良い製品をより速く提供する
 - 新しい機能を迅速に提供するための開発手法の浸透
- 変更にともなうリスクを軽減する
 - 影響範囲を小さくしてリスクを軽減する

必要とされる背景



Smoother Effort
Less Risk



Effort Peaks
High Risk

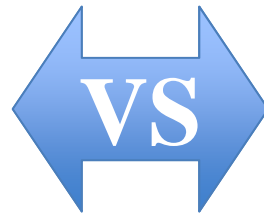
<http://en.wikipedia.org/wiki/DevOps>

実現の壁

一般的な役割分担では・・・



開発部門



運用部門

安定して運用したい

新しい機能をリリースしたい



ビジネス部門

どちらも必要・・・
なのだけど・・・

実現方法の提案

ツールとカルチャーで壁を解消する

今日のスコープ

ツール

1. Automated infrastructure
2. Shared version control
3. One step build and deploy
4. Feature flags
5. Shared metrics
6. IRC and IM robots

カルチャー

1. Respect
2. Trust
3. Healthy attitude about failure
4. Avoiding Blame

プログラムの概要

- システムを自動化するための**アプローチ**を紹介します
- システム（ITシステムを取り巻く仕組みも含め）を自動化する**ポイント**を紹介します
- システムの自動化を実現する**技術(ツール)**を紹介します

なぜ今自動化？

システムの自動化は**太古**から言われている、取り組んでいる、こと・・・

- 日々刻々と機能更新する必要のあるサービス・企業が出現
- 一般の企業で使えるレベルまでツールが熟成



コスト、容易さが現実的になってきた今
企業システムに適用するときの問題点がないか
見直してみましょう。

ご清聴ありがとうございました。